2025(令和7)年度 授業計画

服飾専門課程 高度アパレル専門科 2年次

目 次

【1】	服飾造形・実習Ⅱ	8201
【2】	立体構成(ドレーピング&パターンメイキング)実習Ⅱ	8202
【3】	クリエイティブデザインⅡ	8203
【4】	ドローイング	8204
【5】	プレゼンテーションⅡ	8205
【6】	アパレルCGⅡ	8206
【7】	アパレルCADⅡ	8207
【8】	ファッションテキスタイル	8208
【9】	パターンメイキング演習Ⅰ	8209
【10】	染色実習	8210
【11】	色彩論Ⅱ	8211
【12】	特別講義Ⅱ	8212
【13】	インターンシップ	8213
【14】	中国語会話	8214
【15】	ビジネスコンピュータ(応用)	8215

服飾造形・実習Ⅱ

伊藤 佳代

高度アパレル専門科 2年 通年(前期) 必修 (19単位 演習/実習・実技)

■授業の方針・概要

一年次で修得した服作りの基礎を更に深め、服作りの考え方、デザインに対する素材や付属の選び方、裁断、縫製、パターン等様々な技術を習得する。視覚的美しさと用途に応じたデザイン性、機能性、着心地等も追及して造形感覚を養う。担当教員のパタンナーとしての実務経験を活かし、アパレル業界での物作りの考え方や方法も学び、技術の向上を目指します。

■到達目標 (学修成果)

服種のデザインから制作までを一貫して行ない、自らのデザインを具現化できるようになる。服飾造形の知識・技術の向上とデザインのオリジナルティと感性を高める。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

テーマやデザインを検討、研究することで、確かな技術と優れた卒業制作作品へ向かうことができます。

■フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

製図、工程分析、縫製仕様書、ポートフォリオ、作品等の課題はその都度、点検・採点後に返却します。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	10%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	10%
外部評価・検定試験結果	10%

■教科書

ドレメ式原型 PATTERN MAKING I、II
SEWING I、II、III、IV

■参考文献

服飾用語辞典 Doreme NEW PATTERN BOOK
洋裁技術検定試験問題集 各種ファッション雑誌、必要に応じて資料を適宜配布

■オフィスアワー・研究室

毎週：火曜日 (15:30~17:00) 5303教室 (第5校舎3階)

■備考

状況に応じて日程及び授業内容、作品・課題の返却時期は変更することもある。
システム上変更ができないため、回数表記は週単位の授業内容となる。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 伊藤	台衿付きシャツ (製図・工パタ)	予習：布の準備	60分
2回 伊藤	台衿付きシャツ (裁断・縫製) 企業研修	予習：工程分析作成 予習：企業情報を調べておく	60分
3回 伊藤	台衿付きシャツ (縫製・作品提出)	復習：作業の確認	60分
4回 伊藤	シャツブラウスとパンツのコーディネート (リサーチ・デザイン 考案・素材選択)	予習：市場調査・デザイン	60分
5回 伊藤	シャツブラウスとパンツのコーディネート (製図)	予習：作図方法	60分
6回 伊藤	シャツブラウスとパンツのコーディネート (トワル作成・修 正)	復習：トワルの確認	60分
7回 伊藤	シャツブラウスとパンツのコーディネート (仕様書・工パタ)	復習：パターン完成	60分
8回 伊藤	シャツブラウスとパンツのコーディネート (裁断・縫製)	予習：工程分析作成	60分
9回 伊藤	シャツブラウスとパンツのコーディネート (縫製)	予習：作業の確認	60分
10回 伊藤	シャツブラウスとパンツのコーディネート (資料作成・作品提 出)	予習：資料準備	60分
11回 伊藤	シャツブラウスとパンツのコーディネート (プレゼン発表)	予習：プレゼンの準備	60分
12回 伊藤	リメイク (リサーチ・デザイン考案・材料選択)	予習：市場調査・デザイン	60分
13回 伊藤	リメイク (縫製)	予習：工程分析作成	60分
14回 伊藤	リメイク (資料作成・作品提出)	予習：作業の確認	60分
15回 伊藤	リメイク (プレゼン発表)	予習：プレゼンの準備	60分

服飾造形・実習Ⅱ

伊藤 佳代

高度アパレル専門科 2年 通年(後期) 必修 (19単位 演習/実習・実技)

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 伊藤	ジャケット(製図)	予習:布の準備	60分
2回 伊藤	ジャケット(エパタ・裁断)	予習:工程分析作成	60分
3回 伊藤	ジャケット(縫製)	復習:作業の確認	60分
4回 伊藤	ジャケット(縫製・作品提出)	復習:作業の確認	60分
5回 伊藤	修了制作(リサーチ・デザイン考案・素材選択・資料作成)	予習:市場調査・デザイン	60分
6回 伊藤	修了制作(製図)	予習:作図方法	60分
7回 伊藤	修了制作(仕様書)	復習:布の準備	60分
8回 伊藤	修了制作(トワル作成)	予習:トワルの確認	60分
9回 伊藤	修了制作(修正・エパタ)	予習:パターン完成	60分
10回 伊藤	修了制作(裁断)	予習:工程分析作成	60分
11回 伊藤	修了制作(縫製)	予習:作業の確認	60分
12回 伊藤	修了制作(縫製)	予習:作業の確認	60分
13回 伊藤	修了制作(縫製)	予習:作業の確認	60分
14回 伊藤	修了制作(撮影・資料作成・作品提出)	予習:作業の確認	60分
15回 伊藤	修了制作(プレゼン発表)	予習:プレゼンの準備	60分

立体構成（ドレーピング&パターンメイキング）実習Ⅱ

伊藤 佳代

高度アパレル専門科 2年 通年 必修（1単位 実習・実技）

■授業の方針・概要

担当教員のパタンナーとしての実務経験を活かした授業で、服作りの基礎となる考え方を身につけるため、立体と平面の両面から服の形の見方を学び、自由な発想を形にするための実習を行う。

■到達目標（学修成果）

基本的な服の構造を理解し、イメージしたシルエットを形にすることができるようになることを目標とする。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

必修科目であり、進級に必要な科目。自由な発想を表現するための想像力と技術を学ぶ、重要な科目である。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

毎回の授業内や課題のチェック時に評価（シルエットの見方、バランスなど）を伝える。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	10%
授業内試験・課題（プレゼンテーション含む）	70%
期末試験・課題（プレゼンテーション含む）	20%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

なし

■参考文献

必要に応じて資料を配布する。

■オフィスアワー・研究室

毎週：火曜日（15：30～17：00）5303教室（第5校舎3階）

■備考

授業内容は変更することもある。

■授業計画

回数	授業内容(前期)	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 伊藤	立体裁断と原型について	予習：シラバスを読む	30分
2回 伊藤	前身頃のドレーピング	予習：シーチングの地直し	30分
3回 伊藤	後身頃のドレーピング	予習：シーチングの地直し	30分
4回 伊藤	印付け、修正とパターン作成	復習：授業内容を整理し、まとめる	30分

回数	授業内容(後期)	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 伊藤	前スカートのドレーピング	予習：シーチングの地直し	30分
2回 伊藤	後ろスカートのドレーピング	予習：シーチングの地直し	30分
3回 伊藤	印付け、修正とパターン作成	復習：授業内容を整理し、まとめる	30分
4回 伊藤	身頃とスカートを合体する	予習：シーチングの地直し	30分
5回 伊藤	印付け、修正とパターン作成	復習：授業内容を整理し、まとめる	30分
6回 伊藤	完成	復習：授業内容を整理し、まとめる	30分

クリエイティブデザインⅡ

渡邊 千佳子

高度アパレル専門科 2年 通年(前期) 必修 (2単位 実習・実技)

■授業の方針・概要

古代→中世→近世→近代→現代 と『衣』は『衣服』へと文化と密接に関わりながら変わり、現代の今においても『服』の持つ役割は様々な位置があるといえる。西洋の文化の発達と共に変化してきた服の歴史や、建築物やデザイン様式を通して自らのデザインワークへと繋げていく。また、後半は、デザイナー達が発表した代表的なシルエットを研究し、1冊のインスピレーションブックを完成させる。

この授業では服の歴史やデザインの歴史を紐解くことからはじめ、自分なりに再構築し全く新しいデザインへと繋げていく。

■到達目標 (学修成果)

表現方法としてのイラストレーション能力と創造性を高める。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業のために必要な科目である。創造性及び企画力を身に付ける。

■フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

下書きの段階で一度チェックし、着彩方法、タッチなどその都度点検する、作品返却時に講評する。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

ファッション画法 (渡辺波江、肉丸美香子著)、世界服飾史のすべてがわかる本

■参考文献

ファッションプラス～イラストで学ぶファッション～、最新のファッション誌等

■オフィスアワー・研究室

毎週：月曜日 (15:45～16:45) 5302教室 (第5校舎3階)

■備考

授業内容は変更することもある。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 渡邊	オリエンテーション～ポーズを描く (ポーズ集を作ろう)	復習：ポーズの練習	30分
2回 渡邊	テーマによるデザイン考案 (YKKのコンテストデザイン画)	復習：デザイン考案	30分
3回 渡邊	YKKコンテストデザイン画	復習： "	30分
4回 渡邊	YKKコンテストデザイン画 仕上げ	復習： "	30分
5回 渡邊	帽子制作① 頭回りの採寸	復習： 帽子のデザイン考案	30分
6回 渡邊	帽子制作② 帽子のパターン	復習： パターン制作	40分
7回 渡邊	帽子制作③ 生地のカット	復習： カット	30分
8回 渡邊	帽子制作④ 帽子の仮縫い	復習： 仮縫い	30分
9回 渡邊	帽子制作⑤ 帽子仕上げ	復習： 仕上げ	30分
10回 渡邊	全国ファッションデザインコンテスト 考案	復習： 考案	30分
11回 渡邊	全国ファッションデザインコンテスト 仕上げ	復習： 仕上げ	30分
12回 渡邊	服装史からの研究① 【古代】 下書き	復習：下書き	60分
13回 渡邊	服装史からの研究② 【古代】 仕上げ ドレープの描き方	復習：仕上げ	60分
14回 渡邊	服装史からの研究③ 【中世】 下書き	復習：下書き	30分
15回 渡邊	服装史からの研究④ 【中世】 仕上げ ベルバットの描き方、ふくれ織等の表現方法	復習：仕上げ	30分

クリエイティブデザインⅡ

渡邊 千佳子

高度アパレル専門科 2年 通年(後期) 必修 (2単位 実習・実技)

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 渡邊	服装史からの研究⑤ 【近世】 下書き	復習：下書き	30分
2回 渡邊	服装史からの研究⑥ 【近世】 仕上げ フリル等の表現方法	復習：仕上げ	30分
3回 渡邊	服装史からの研究⑦ 【近代】 下書き	復習：下書き	30分
4回 渡邊	服装史からの研究⑧ 【近代】 仕上げ きらびやかな生地 の表現方法	復習：仕上げ	30分
5回 渡邊	スモッキング①	復習：基本的な刺し方	30分
6回 渡邊	スモッキング②	復習：応用の刺し方	40分
7回 渡邊	服装史からの研究⑨ 【現代】 デザイナー研究 図書館	復習： 図書館	30分
8回 渡邊	服装史からの研究⑩ 【現代】 デザイナー研究 下書き	復習： 下書き	30分
9回 渡邊	服装史からの研究⑪ 【現代】 デザイナー研究 発表	復習： 仕上げ	30分
10回 渡邊	修了制作のデザイン画 考案 下書き 群像の描き方	復習： 考案	30分
11回 渡邊	〃	復習：下書き	30分
12回 渡邊	〃	復習：下書き	60分
13回 渡邊	〃	復習：着色	60分
14回 渡邊	〃	復習：着色	30分
15回 渡邊	〃 仕上げ	復習：仕上げ	30分

ドローイング

杉山 尚子

高度アパレル専門科 2年 通年 必修 (2単位 演習)

■授業の方針・概要

対象を正確に見て描き出す素描の技法の習得と、豊かで自由な発想を促すドローイングを学習する。さまざまな描画材料、用具の扱いと大きな画面になれるようにする。またコラージュ、人体、毛皮等の多様な手法やモチーフで表現方法を養う。

■到達目標 (学修成果)

形、質感を具体的にとらえ、可視化できるようになる。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

描く能力は服飾造形に必要な発想を導き出す源となり、デザイン、制作に役立ち、テキストへの理解が深まる。

■フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

後期に作品の講評をする。課題は採点后、返却する。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	20%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

なし

■参考文献

なし

■オフィスアワー・研究室

授業終了後、教室で質問等に対応する

■備考

授業にはクロッキーブックを持参すること

■授業計画

回数	授業内容(前期)	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 杉山	授業と描画材の説明 鉛筆デッサン 幾何形体	予習: 画材の準備	30分
2回 杉山	布の表現 1 鉛筆デッサン	予習: 画材の準備	30分
3回 杉山	布の表現 2 鉛筆デッサン	予習: 画材の準備 復習: 作業の確認	30分
4回 杉山	学生クロッキー/有色下地	予習: 画材の準備	30分
5回 杉山	水彩の技法 静物 1 水彩絵具とその技法についての説明	予習: 画材と画題の準備	30分
6回 杉山	水彩の技法 静物 2	復習: 作業の確認	30分
7回 杉山	人体クロッキー	予習: 画材の準備	30分
8回 杉山	質感の表現 有色下地	予習: 画材の準備	30分
9回 杉山	木炭デッサンの描き方 石膏デッサン 木炭 1	予習: 画材の準備	30分
10回 杉山	石膏デッサン 木炭 2	復習: 作業の確認	30分
11回 杉山	石膏デッサン 木炭 3	復習: 作業の確認	30分
12回 杉山	石膏デッサン 木炭 4	復習: 作業の確認	30分
13回 杉山	コラージュ/フォトモンタージュ 1	予習: 画材の準備	40分
14回 杉山	コラージュ/フォトモンタージュ 2	予習: 画材の準備	30分
15回 杉山	質感の表現 1	予習: 画材の準備	30分

回数	授業内容(後期)	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 杉山	質感の表現 2	予習: 画材の準備	30分
2回 杉山	花を描く	予習: 画材と画題の準備	30分
3回 杉山	人体クロッキー	予習: 画材の準備	30分
4回 杉山	人体デッサン	予習: 画材の準備	30分
5回 杉山	静物 バッグ	予習: 画材と画題の準備	30分

プレゼンテーションⅡ

赤川 順子

高度アパレル専門科 2年 通年 必修 (3単位 演習)

■授業の方針・概要

ファッションデザイナー、デザインディレクターとして企業実務経験者による講義と実習を組合せた授業。修了制作と関連付けオリジナルブランドを立案しブランド紹介資料を作成、プレゼンテーションを行う。後期に期間限定しファッション業界に特化した生成AI活用プラットフォームを使用する。

■到達目標 (学修成果)

ブランディングに必要な要件を想定しマーケティングを意識したプランが立てられるようになる。ファッションデザインを通して伝えたいメッセージを感覚的なものから具体的に言語化することを目指す。プレゼンテーションの目的を理解し効果的なストーリーを組立て主張ができるようになる。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

修了のために必要とする科目。

■フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

制作物について進度に応じたアドバイスを随時行います。プレゼンテーションや制作した課題について講評を行います。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

なし

■参考文献

なし

■オフィスアワー・研究室

授業終了後、質疑等に対応いたします。

■備考

授業内容、日程は変更することがあります。

■授業計画

回数	授業内容 (前期)	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 赤川	オリエンテーション 目的に応じたプレゼンテーションの構成について	復習 企業公式サイトを閲覧しブランドコンセプト、ターゲットの例を調査	40分
2回 赤川	ブランドを構成する要素のピックアップ	復習 マーケットリサーチ	60分
3回 赤川	ブランドの概要を設計し、コンペティターを挙げる	復習 マーケットリサーチ	60分
4回 赤川	プレゼンテーションのストーリー展開、資料の構成を考案する	事前に造形実習の制作物に作成した資料などを揃えておく	30分
5回 赤川	オリジナルブランド考案/ ブランドコンセプト、ターゲット設定とムードボードの作成	次回へ向けて、主力アイテムを何にするかイメージをまとめておく	45分
6回 赤川	オリジナルブランド考案/ ブランドの具体的特長、細部のイメージをビジュアル化	主力アイテムのデザインラフ考案	45分
7回 赤川	オリジナルブランド考案/ シーズンテーマに関連付けるムードボードの作成	主力アイテムのデザインラフ考案	45分

回数	授業内容 (後期)	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 赤川	オリジナルブランド考案/ 代表ルック紹介ページの作成	不足分のデザイン考案	45分
2回 赤川	オリジナルブランド考案/ シーズンMDマップの作成	資料作成に欠けている項目の内容を練っておく	45分
3回 赤川	オリジナルブランド考案/ シーズンMDマップの作成	資料作成に欠けている項目の内容を練っておく	45分
4回 赤川	MaisonAIの使用/チャット機能、画像解析機能でプレゼン資料をブラッシュアップ	事前にアパレル品、洋品小物のビジュアルを収集しておく	30分
5回 赤川	MaisonAIの使用/AIデザインによる画像生成機能でプレゼン資料をブラッシュアップ	事前にブランドアイデンティティのラフ案を考えておく	30分
6回 赤川	オリジナルブランド考案/ 提供価値と価格設定について	事前に作品制作にかかる資材類の数量、用尺を用意しておく	45分
7回 赤川	プレゼンテーション準備、資料最終確認、リハーサル	事前にプレゼン原稿を整えておく	45分
8回 赤川	プレゼンテーション/講評	自らの成果物の振り返り、他者のプレゼン内容も含め収穫ポイントを整理しておく	30分

アパレルCG II

戸井田 未来

高度アパレル専門科 2年 通年(前期) 必修 (4単位 演習)

■授業の方針・概要

授業担当者のデザイナーとしての経験と実績を活かしてパソコンスキル、構成力を高める。

■到達目標 (学修成果)

社会に通用するCGでのビジュアル、構成力のある資料の作成を目指す。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

2年次修了に必要な科目

■フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

作成資料への添削返却、プレゼン資料へのコメント

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

無し

■参考文献

必要に応じインターネットを使用

■オフィスアワー・研究室

月曜日 (10:20~12:00) 6201教室

■備考

授業内容は変更することもある

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 戸井田	オリエンテーション 平絵 (Tシャツ) 作成	平絵、パソコン作成の資料のアパレル現場での役割説明。イラストレーターにて作成	90分
2回 戸井田	平絵 (ブラウス) 作成	復習 Tシャツ平絵確認 イラストレーターにて作成	90分
3回 戸井田	縫製仕様書 (ブラウス) 作成 平絵 (タイトスカート) 作成	復習 ブラウス平絵確認 Excel、イラストレーターにて作成	90分
4回 戸井田	平絵 (ギャザースカート) 作成	復習 タイトスカート平絵確認 イラストレーターにて作成	90分
5回 戸井田	縫製仕様書 (ギャザースカート) 平絵 (フレアスカート) 作成	復習 ギャザースカート平絵確認 Excel、イラストレーターにて作成	90分
6回 戸井田	平絵 (フレアスカート) 作成	イラストレーターにて作成	90分
7回 戸井田	平絵 (パンツ) 作成	復習 フレアスカート平絵確認 イラストレーターにて作成	90分
8回 戸井田	平絵 (ブラウス) 作成	復習 パンツ平絵確認 イラストレーターにて作成	90分
9回 戸井田	平絵 (ジャケット) 作成	復習 ブラウス平絵確認 イラストレーターにて作成	90分
10回 戸井田	デザイン画CG加工、写真CG加工	復習 ジャケット平絵確認 イラストレーター、フォトショップにて作成	90分
11回 戸井田	文字CG加工、コラージュ加工 プレゼン資料作成	イラストレーター、フォトショップにて作成	90分
12回 戸井田	平絵 (デニム) 作成	復習 プレゼン資料確認 イラストレーターにて作成	90分
13回 戸井田	平絵 (デニム) 作成 平絵 (トレンチコート) 作成	イラストレーターにて作成	90分
14回 戸井田	平絵 (トレンチコート) 作成	復習 デニム平絵確認 イラストレーターにて作成	90分
15回 戸井田	プレゼン資料作成	復習 トレンチコート平絵確認 イラストレーター、フォトショップにて作成	90分

アパレルCGⅡ

戸井田 未来

高度アパレル専門科 2年 通年(後期) 必修 (4単位 演習)

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 戸井田	プレゼン資料作成	イラストレーター、フォトショップにて作成	45分
2回 戸井田	プレゼン資料作成	イラストレーター、フォトショップにて作成	45分
3回 戸井田	プレゼン資料作成	イラストレーター、フォトショップにて作成	45分
4回 戸井田	プレゼン資料作成	イラストレーター、フォトショップにて作成	45分
5回 戸井田	プレゼン資料作成	イラストレーター、フォトショップにて作成	45分
6回 戸井田	プレゼン資料作成	イラストレーター、フォトショップにて作成	45分
7回 戸井田	プレゼン資料作成	イラストレーター、フォトショップにて作成	45分
8回 戸井田	プレゼン資料作成	イラストレーター、フォトショップにて作成	45分
9回 戸井田	プレゼン資料作成	イラストレーター、フォトショップにて作成	45分
10回 戸井田	プレゼン資料作成	イラストレーター、フォトショップにて作成	45分
11回 戸井田	プレゼン資料作成	イラストレーター、フォトショップにて作成	45分
12回 戸井田	プレゼン資料作成	イラストレーター、フォトショップにて作成	45分
13回 戸井田	プレゼン資料作成	イラストレーター、フォトショップにて作成	45分
14回 戸井田	プレゼン資料作成	イラストレーター、フォトショップにて作成	45分
15回 戸井田	プレゼンテーション	最終プレゼンテーションへのコメント	45分

アパレルCADⅡ

菊地 正哲

高度アパレル専門科 2年 通年(前期) 必修 (4単位 演習)

■授業の方針・概要

授業担当者のパタンナーとしての実務経験とパタンナーへの技術指導の実績を活かし、アパレルCADシステムの実践的な活用法を習得することを目指す。特にこれからのIT社会に対応したスキルを身につける為、パターンメイキングだけではなく、データ管理の方法と仕様書作成、及び3Dの基本的な操作の実習も行う。

■到達目標 (学修成果)

アパレルCADシステムを使い、パターンメイキングの応用操作、グレーディング・マーキングの基本操作の習得を目標とする。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

3年に進級するための必要な科目。CADシステムの活用法を理解するための科目。

■フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

授業の中で、質問に答えてその都度、解決していく。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	10%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	20%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

PATTERN MAKING I・II・III

■参考文献

CREA COMPOⅡ オペレーションマニュアル

■オフィスアワー・研究室

水曜日 (15時35分～17時00分) 6101教室 (第六校舎1F CAD室)

■備考

状況により内容変更有り。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 菊地	身頃ダーツ展開12種類	予習:展開方法を確認しておく。	30分
2回 菊地	スカート①:シルエット原型3種類	復習:項目、機能を整理する。	30分
3回 菊地	スカート②:3Dデジタルトワル作成	復習:項目、機能を整理する。	30分
4回 菊地	スカート③:工業用パターン作成	復習:裏地の展開確認しておく。	30分
5回 菊地	スカート④:仕様書作成	復習:作成資料を確認する。	30分
6回 菊地	パンツ①:シルエット原型3種類	復習:項目、機能を整理する。	30分
7回 菊地	パンツ②:パターンメイキング	復習:項目、機能を整理する。	30分
8回 菊地	パンツ③:3Dデジタルトワル作成	復習:項目、機能を整理する。	30分
9回 菊地	パンツ④:工業用パターン作成	予習:ポケット等の仕様を確認しておく。	30分
10回 菊地	パンツ⑤:仕様書作成	復習:作成資料を確認する。	30分
11回 菊地	ブラウス①:パターンメイキング	復習:項目、機能を整理する。	30分
12回 菊地	ブラウス②:パターンメイキング	復習:項目、機能を整理する。	30分
13回 菊地	ブラウス③:3Dデジタルトワル作成	復習:項目、機能を整理する。	30分
14回 菊地	ブラウス④:工業用パターン作成	予習:襟の展開等を確認しておく。	30分
15回 菊地	ブラウス⑤:仕様書作成	復習:作成資料を確認する。	30分

アパレルCADⅡ

菊地 正哲

高度アパレル専門科 2年 通年(後期) 必修 (4単位 演習)

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 菊地	ジャケット①: シルエット原型3種類	復習: 項目、機能を整理する。	30分
2回 菊地	ジャケット②: 3面パターンメイキング	復習: 項目、機能を整理する。	30分
3回 菊地	ジャケット③: 3面パターンメイキング	復習: 項目、機能を整理する。	30分
4回 菊地	ジャケット④: 3Dデジタルトワル作成	復習: 項目、機能を整理する。	30分
5回 菊地	ジャケット⑤: 工業用パターン作成	予習: 襟の展開を確認しておく。	30分
6回 菊地	ジャケット⑥: 工業用パターン作成	予習: 裏地の展開を確認しておく。	30分
7回 菊地	ジャケット⑦: 仕様書作成	復習: 作成資料を確認する。	30分
8回 菊地	ジャケット⑧: 4面パターンメイキング	復習: 項目、機能を整理する。	30分
9回 菊地	ジャケット⑨: 3Dデジタルトワル作成	復習: 項目、機能を整理する。	30分
10回 菊地	ジャケット⑩: 工業用パターン作成	予習: 裏地の展開を確認しておく。	30分
11回 菊地	ジャケット⑪: 仕様書作成	復習: 作成資料を確認する。	30分
12回 菊地	マーキング実習	復習: 項目、機能を整理する。	30分
13回 菊地	グレーディング原理	復習: 項目、機能を整理する。	30分
14回 菊地	グレーディング実習	復習: 項目、機能を整理する。	30分
15回 菊地	まとめ(試験)	復習: 作成資料を確認する。	30分

ファッションテキスタイル

赤澤 結花

高度アパレル専門科 2年 通年 必修 (1単位 実習・実技)

■授業の方針・概要

ファッションテキスタイルでは、織物についての基礎知識を学ぶ。織物の基本である「三原組織」は紙を切って経糸と緯糸を作り、「平織」「綾織」「朱子織」を手で織ってみる。紙で織った組織と既製の布を分解鏡で見比べ、基本的な織り方の知識を深める。同様に「千鳥格子」「ヘリンボーン」「タータンチェック」も紙で織ることによって、織物によるストライプとチェックの特徴と変化組織についても学んでいく。また、実際に卓上織機でマフラーを織ることで、織物の仕組みを理解する。

■到達目標 (学修成果)

織物の基本を通して、アパレル素材の知識を深める

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業に必要な科目。アパレル素材の知識を深めることは、より充実した作品制作とアパレル企業で働くことに役立つ。

■フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

課題提出物返却時に講評をする。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

必要に応じてプリントを配布

■参考文献

テキスタイル用語辞典 成田典子著 (株) テキスタイル・ツリー

■オフィスアワー・研究室

毎週：月曜日 (16時00分～17時00分) 5201教室 (第5校舎2階)

■備考

授業内容は変更することもある。

■授業計画

回数	授業内容(前期)	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 赤澤	紙で織る三原組織 平織、綾織、朱子織	復習：既製の生地を見る	30分
2回 赤澤	紙で織る綾織の応用 千鳥格子、ヘリンボーン	復習：ヘリンボーンまで終わらせる	30分
3回 赤澤	〃 タータンチェック	復習：仕上げる	30分
4回 赤澤	マクラメ サンプル	復習：できるところまで進める	30分
5回 赤澤	応用 仕上げ	復習：仕上げる	30分

回数	授業内容(後期)	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 赤澤	卓上織機でマフラーを織る 設計書の記入 整経	予習：タテ糸を用意する	30分
2回 赤澤	箆通し～綜統通し	予習：ヨコ糸を用意する	30分
3回 赤澤	巻取り 織付け ヨコ糸準備 試し織り	復習：できるところまで進める	30分
4回 赤澤	織布	復習：できるところまで進める	30分
5回 赤澤	織布 糸の始末 仕上げ	復習：仕上げる	30分

パターンメイキング演習 I

伊藤 佳代

高度アパレル専門科 2年 後期 必修 (2単位 演習)

■授業の方針・概要

パターンメイキング技術検定試験対策の授業である。パターンメイキング技術検定試験3級ガイドブックの内容を理解し、ファッション業界の基礎知識・技術と、パターンメイキングに関する基礎知識・技術等を習得する。受験対策として、繰り返し模擬試験を行う。担当教員のパタンナーとしての実務経験を活かし指導を行う。

■到達目標 (学修成果)

パターンメイキング技術検定試験3級の修得を目標とする。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

必修科目のため、卒業に必要な科目です。既製服の概念としての基礎知識を理論的に理解し、ファーストパターンから工業パターンに関する専門知識と技術を向上させる。

■フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

授業内で模擬試験の解答、解説を行う。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	10%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	60%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	10%
外部評価・検定試験結果	20%

■教科書

なし

■参考文献

パターンメイキング技術検定試験3級ガイドブック

■オフィスアワー・研究室

毎週：火曜日 (15:30~17:00) 第5校舎 3階 5303教室

■備考

日程及び授業内容は変更することもある。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 伊藤	パターンメイキング技術検定試験3級について ガイドブック読み合わせ説明	予習：ガイドブック確認	30分
2回 伊藤	筆記試験対策① (理論模擬試験)	復習：模擬試験の解答	30分
3回 伊藤	筆記試験対策② (理論模擬試験)	復習：模擬試験の解答	30分
4回 伊藤	筆記試験対策③ (理論模擬試験)	復習：模擬試験の解答	30分
5回 伊藤	実技試験対策①パターンメイキング、トワル組み立て	予習：シーチング地直し 復習：パターン・トワルの確認	30分
6回 伊藤	実技試験対策②パターンメイキング、トワル組み立て	予習：シーチング地直し 復習：パターン・トワルの確認	30分
7回 伊藤	実技試験対策③パターンメイキング、トワル組み立て	予習：シーチング地直し 復習：パターン・トワルの確認	30分
8回 伊藤	実技試験対策④パターンメイキング、トワル組み立て (模擬試験)	予習：シーチング地直し 復習：模擬試験結果の確認	30分
9回 伊藤	実技試験対策⑤パターンメイキング、トワル組み立て (模擬試験)	予習：シーチング地直し 復習：模擬試験結果の確認	30分
10回 伊藤	パターンメイキング技術検定試験準備 筆記試験、実技試験の確認	復習：検定試験の準備	30分

染色実習

鎌田 美恵

高度アパレル専門科 2年 前期 必修 (1単位 実習・実技)

■授業の方針・概要

染色の基本に基づいたワークショップを指導してきた授業担当者の経験を活かし、授業ではハンカチ・Tシャツ・エコバックを化学染料や顔料を用いて絞り染め・タイダイ染めやステンシルで、コースターは草木染めをし型紙捺染を行う。さらに専用生地を用いてオパール加工処理の方法などを修得する。またその技法に合ったデザインの考案や調色方法の他、前処理(ムラなくきれいに染めるため)や後処理(堅牢度を高める)など一連の染色工程を学修する。実習を通して繊維と染料の関係、各染料による染法、染料と顔料の違いなど基本的知識も修得する。

■到達目標 (学修成果)

染色に対する技術や知識を得て理解を深めることにより、服飾造形に活かせるクリエイション力や応用力を養い高めることができる。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

必修科目のため卒業に必要な科目である。修得した染色技法や知識などを作品制作に繋げる。

■フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

課題作品は評価した後、速やかに返却する。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

授業資料プリントを作成する。

■参考文献

授業時に適宜提示する。

■オフィスアワー・研究室

授業終了後、質問などに対応いたします。

■備考

成績は出欠や授業態度を重視します。作品制作に当たっては丁寧で正確な作業を心掛けて積極的な態度で学修に取り組んでください。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 鎌田	オリエンテーション 染色について	復習：プリント再読	30分
2回 鎌田	絞り染り(ハンカチ)／スレン染料 絞り	予習：絞り技法調査	30分
3回 鎌田	絞り染り(ハンカチ)／スレン染料 染色	復習：授業を振り返りレポート作成	45分
4回 鎌田	タイダイ染め(Tシャツ)／反応染料 絞り、染色、レポート作成	予習：タイダイ染め絞り技法調査	45分
5回 鎌田	草木染めと型紙捺染(コースター)／植物染料 染液抽出、濃色処理	復習：草木染の染め材料とその色彩調査	45分
6回 鎌田	草木染めと型紙捺染(コースター)／植物染料 浸染、型紙作製	予習：デザイン考案	30分
7回 鎌田	草木染めと型紙捺染(コースター)／直接染料 捺染、蒸熱、水洗、乾燥	復習：授業を振り返りレポート作成	45分
8回 鎌田	ステンシル(エコバッグ)／顔料 精練、下絵、型紙作製	予習：デザイン考案	45分
9回 鎌田	ステンシル(エコバッグ)／顔料 染色、熱処理	復習：授業を振り返りレポート作成	45分
10回 鎌田	オパール加工(専用生地)／直接染料 糊置き、炭化、染色、レポート作成	予習：生地に対する加工方法調査	30分

色彩論Ⅱ

桑野 恵美

高度アパレル専門科 2年 後期 必修 (1単位 講義)

■授業の方針・概要

色彩の基礎を理解した上でのファッション業界での色彩の応用力を講義と演習で学習する。
授業担当者は、各分野に落とし込んだ色彩提案を行う、カラーコンサルタント会社での実務を通じて感性に頼った色の考え方ではなく、客観的な視点でビジネスに通用する色の考え方や手法についての理解を目指す。

■到達目標 (学修成果)

ファッション色彩能力検定試験2級 (1月実施予定) の受験を前提とし、合格を目標とする。
ファッション業界の企画から流通にいたるまでの実務で、目的に合った効果的な色選びができる知識の習得を目指す。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

色彩学Ⅱは、ファッション業界での色彩実務が学べ、それを活用していくことができる専門力向上に資する科目です。

■フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

- ・過去問題はポイント箇所を中心に解説を行います。問題集は、必要であれば解説を行います。
- ・カラーワークの課題について集めた場合は、個々にコメントを入れて返却しますが、同時に全体に向けての講評をします。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	20%
外部評価・検定試験結果	20%

■教科書

「ファッション色彩[Ⅱ]」 財団法人 日本ファッション教育振興協会
「ファッション色彩能力検定試験2級問題集」 財団法人 日本ファッション教育振興協会

■参考文献

適宜アナウンスします。

■オフィスアワー・研究室

授業前後の時間で質問等対応します。

■備考

教科書、問題集、配色カード(1年次使用)、はさみ、のりは毎回、準備してください。
各回の授業の順番・内容は変更になる場合があります。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 桑野	色名/光と色	色名の効果/光による色の見え方 テキスト確認/該当ページの問題を解く	60分
2回 桑野	照明による色の再現性/配色技法① (流行配色)	照明による見え方の違い/配色効果 テキスト確認/該当ページの問題を解く	60分
3回 桑野	色覚・色彩の知覚的効果/配色技法② (流行配色・その他の配色)	視覚と色の知覚的効果/配色技法 テキスト確認/該当ページの問題を解く	60分
4回 桑野	色の表示/色見本とカラーコード/調和の技術	色の表示の目的と意味 テキスト確認/該当ページの問題を解く	60分
5回 桑野	色彩調和論/配色の応用	色彩調和論とその応用 テキスト確認/該当ページの問題を解く	60分
6回 桑野	ファッションイメージとカラーファッション産業における色彩計画①	イメージ配色/企画・生産段階の色彩ポイントの確認 該当ページの問題を解く	60分
7回 桑野	ファッション産業における色彩計画②	段階における色彩ポイントの確認 該当ページの問題を解く	120分
8回 桑野	過去問題のフィードバック/総復習	苦手な箇所を本文で確認する 問題集を繰り返し解く	120分

特別講義Ⅱ

伊藤 佳代

高度アパレル専門科 2年 通年(前期) 必修 (1単位 講義)

■授業の方針・概要

年間を通して、ファッション業界で活躍するスペシャリストを招き、ファッション業界の現状から最新のトレンドや企画立案、技術的な部分までの講義を開き、常に最新の技術や知識を学ぶことを目標とする。知識向上と業界人が考える物作りの考え方を修得する。

■到達目標 (学修成果)

服飾造形Ⅱの授業と連携しながら、学内では学べないファッション業界の現場を知ること、今学んでいる事の重要性を感じ自己の知識向上を目的とする。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

必修科目のため、2年次修了に必要な科目です。将来の就職に向けて仕事を理解するために必要となります。

■フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

講義ごと聴講した後にレポートを提出させ、点検して返却する。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

なし

■参考文献

必要に応じて資料を配布する。

■オフィスアワー・研究室

授業終了後、質問等に対応する。

■備考

外部講師による授業なので、内容や時間等は先生により変更することもある。

■授業計画

回数	授業内容 (前期)	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 外部	現代ファッションの歴史	先生により各回違う。準備等や時間は事前に知らせる。	30分
2回 外部	クリエイティブなデザインの考え方	先生により各回違う。準備等や時間は事前に知らせる。	30分
3回 外部	副資材について (YKKセミナー)	先生により各回違う。準備等や時間は事前に知らせる。	30分
4回 外部	コンバーターの役割	先生により各回違う。準備等や時間は事前に知らせる。	30分
5回 外部	リメイクについて	先生により各回違う。準備等や時間は事前に知らせる。	30分
6回 外部	ジュエリーの知識	先生により各回違う。準備等や時間は事前に知らせる。	30分
7回 外部	サステイナブルファッション	先生により各回違う。準備等や時間は事前に知らせる。	30分

回数	授業内容(後期)	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 外部	ニューヨークコレクショントレンドセミナー	先生により各回違う。準備等や時間は事前に知らせる。	30分

インターンシップ

伊藤 佳代

高度アパレル専門科 2年 通年(前期) 必修 (2単位 実習・実技)

■授業の方針・概要

インターンシップ（就労体験）を通して、専門分野に関連する実務体験を企業で体験・学修します。実務能力を高め、企業で必要とされる能力を感じ取ることで、卒業後の就職に対する意欲と学内での学修をより深く理解することができる。

■到達目標（学修成果）

学内授業では得られない就労体験を行うことで将来の就職に生かせる理解と能力を身につけることを目標とする。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、専門選択科目の卒業要件科目である。将来の就職に向けて仕事を理解するための選択科目。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

研修日誌による毎日の提出内容の企業研修先による講評、最終報告書提出の講評を当日その都度フィードバックする。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	20%

■教科書

なし

■参考文献

なし

■オフィスアワー・研究室

授業初日に伝達。就職部

■備考

実務時期、期間：2年生または3年生で8日から10日相当（評価は3年次）

研修内容、地域：企業により異なる。地域は主に首都圏および各県。実施期間等に変更になる事もある

■授業計画

回数	授業内容（前期）	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 就職課	オリエンテーション：研修の心得とマナー等について	予習：企業について研究する。	90分
2回 伊藤	面談：研修先企業や職種について面談	復習：研修先について検討する。	60分
3回 企業	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く。	30分
4回 企業	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く。	30分
5回 企業	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く。	30分
6回 企業	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く。	30分
7回 企業	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く。	30分
8回 企業	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く。	30分

回数	授業内容（後期）	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 企業	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く。	90分
2回 企業	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く。	60分
3回 企業	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く。	30分
4回 企業	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く。	30分
5回 企業	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く。	30分
6回 企業	事後報告：報告書、研修日誌のまとめ	復習：研修日誌を書く。報告書をまとめる。	30分
7回 企業	事後報告：報告書、研修日誌の提出	復習：講評を振り返る。	30分

中国語会話

盧 繁華

高度アパレル専門科 2年 後期 必修 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

まずは中国語の「発話」から学習します。正確な発音や中国語式スペリングをしっかりと覚えてから、文の構造及び基礎文法文型と慣用語句を学びます。聴く、話す、書くという形式で授業を進めます。

■到達目標 (学修成果)

話せる、聞き取れる中国語会話力を身につけることと日中翻訳もできる目標とします。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は卒業要件科目ではありませんが、職場にて必要な場合に対応できる一つの語学技能となります。

■フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

授業内と授業外の指定小テストがあり、期末テストの成績と合算して総合成績評価とします。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

『はじめよう楽々中国語』(白水社)

■参考文献

学内の図書館にある各種の辞典、週刊新聞の『中文導報』等を利用します。

■オフィスアワー・研究室

毎週月曜日14:30~16:15までの時間帯は大学研究棟の6030号室にいます。

■備考

無し

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 盧	第1課、①中国語のスペリングのしくみ、②母音の種類	第1課の母音種類の発声練習	30分
2回 盧	第2課、①中国語のスペシャルの表記法、②子音種類	第2課の子音種類の発声練習	30分
3回 盧	第3課Ⅰ、時の表現、何月何日? / 何時?	第3課の数、月日・曜日、時刻	35分
4回 盧	第3課Ⅱ、第4課Ⅰ、お名前は? / どちらの学校?	第4課の人称名詞、「是」の構文	35分
5回 盧	第4課Ⅱ、第5課Ⅰ、だれ? / なに? / これは~です	第5課の動詞の文、疑問詞の種類	40分
6回 盧	第5課Ⅱ、第6課Ⅰ、いる / ある /	第6課の指示代名詞Ⅰ、「有」の文	40分
7回 盧	第6課Ⅱ、第7課Ⅰ、どこにいる? / AそれともB?	第7課の指示代名詞Ⅱ、「在」の文	40分
8回 盧	第7課Ⅱ、第8課Ⅰ、どれくらいかかる? / するのが好きだ	第8課の形容詞の文、前置詞	40分
9回 盧	第8課Ⅱ、第9課Ⅰ、いくら? / Aよりも~です?	第9課の比較文、手段方法の表現	40分
10回 盧	第9課Ⅱ、第10課Ⅰ、~したい / どこで?	第10課の助動詞使い方、過去形	40分
11回 盧	第10課Ⅱ、第11課Ⅰ、~できる? / ~していい?	第11課の助動詞の各種の表現	40分
12回 盧	第11課Ⅱ、第12課Ⅰ、~している / ~したことがある	第12課の動詞の各種の進行形	40分
13回 盧	第12課Ⅱ、会話の総合まとめ	常用品詞と慣用語の復習	50分
14回 盧	文型の総合まとめ	基本文法・文型の復習	50分
15回 盧	確認筆記テスト	セルフチェック	60分

ビジネスコンピュータ（応用）

齋藤 宣

高度アパレル専門科 2年 前期 選択 （2単位 演習）

■授業の方針・概要

現代のビジネスにおいて、コンピュータは必要不可欠なツールです。特に、Microsoft Office系アプリケーションソフト（Word、Excel、PowerPoint）は、多くの業界で広く利用されています。これらのアプリケーションの中でも、データ分析や資料作成に不可欠なExcelに焦点を当て、その操作を習得します。具体的には、計算や関数、グラフ作成などの操作を通して、ビジネスで役立つ実践的な活用方法を学びます。

■到達目標（学修成果）

Microsoft Office系アプリケーションソフトの中でも、特にExcelの操作を習得し、ビジネスにおける資料作成に必要な操作を実践できるようになることを目指します。具体的には、以下のスキルを習得し、業務効率向上に貢献できる人材を育成します。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業のために必要な科目ではありませんが、社会人に必須なPCスキルの基本を身に付ける科目である

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業内で不明点がある場合、その場で個人指導を行う。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	20%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

なし

■参考文献

よくわかる Excel2016 応用（FOM出版）

エクセル&ワード&パワポ+エクセル関数 基本&便利ワザまるわかり（GAKKEN COMPUTER MOOK）

■オフィスアワー・研究室

毎週：火曜日（16時00分～17時00分）本校舎3階1036教室

■備考

日程及び授業内容は変更することもある。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 齋藤	Excel 基本の復習	予習：Excel基本操作	30分
2回 齋藤	Excel 計算問題の復習①	復習：操作確認	30分
3回 齋藤	Excel 計算問題の復習②	復習：操作確認	30分
4回 齋藤	Excel 関数の復習	復習：操作確認	30分
5回 齋藤	Excel 基本的な関数の利用①	復習：操作確認	30分
6回 齋藤	Excel 基本的な関数の利用②	復習：操作確認	30分
7回 齋藤	Excel 相対参照と絶対参照	復習：操作確認	30分
8回 齋藤	Excel VLOOKUP関数とデータ検索	復習：操作確認	30分
9回 齋藤	Excel ピボットテーブルの基本	復習：操作確認	30分
10回 齋藤	Excel グラフの作成と編集	復習：操作確認	30分
11回 齋藤	Excel データの並べ替えとフィルター	復習：操作確認	30分
12回 齋藤	Excel 日付と時刻の関数	復習：操作確認	30分
13回 齋藤	Excel 条件付き集計関数	復習：操作順序の確認	30分
14回 齋藤	Excel 復習・模擬テスト	復習：模擬テストの確認	30分
15回 齋藤	Excel テスト	予習：テスト勉強	60分